

## 試験研究成果普及情報

部門	果樹	対象	普及
課題名：ニホンナシ「あきづき」の収穫適期の判定及び花芽着生法			
[要約]「あきづき」の収穫は、収穫盛期までは豊水用カラーチャート値3～5、その後は3～4で行う。花芽は、新梢誘引や1年生枝を1年間棚付けする方法で確保できる。			
キーワード：ニホンナシ、あきづき、収穫適熟色、側枝更新			
実施機関名 主 査 農業総合研究センター生産技術部果樹研究室 協力機関			
実施期間 1999年度～2005年度			

### [目的及び背景]

「あきづき」については、平成10年度試験研究成果発表会において品種特性を中心に発表したが、成熟特性や栽培特性はほとんど明らかになっていなかった。そこで、収穫適熟色、花芽の確保方法等について検討する。

### [成果内容]

- 1 収穫適熟色は、収穫始期から盛期では豊水用カラーチャート値3～5、その後は3～4である。収穫が遅れると、みつ症や果肉崩壊症などの果肉障害が発生する恐れがある（表1、表2）。
- 2 えき花芽の着生は極めて不良であるが、7月上中旬の新梢誘引により増加する（表3）。
- 3 えき花芽がほとんど着生していない強い1年生枝を棚付けすると、翌年は短果枝の着生が良好な側枝になる（表4）。
- 4 短果枝の維持が不良なため、側枝は3年程度で更新する（表5）。

### [留意事項]

- 1 表面色の測定は、ていあ（花落ち）部の窪んだ部分に緑色が残るので、緑色の部分を避けて行う。
- 2 側枝更新用の枝がない場合は、強い1年生枝を古い側枝の上に重ね、仰角45°に誘引しておく。

### [普及対象地域]

県下ナシ栽培地域

### [行政上の措置]

平成12～16年度に生産振興課の新品種新果樹導入調査事業により、県内3か所で試験栽培を実施した。

[普及状況]

平成17年の「あきづき」栽培面積は、25haである（生産振興課調査）。

[成果の概要]

表1 表面色（豊水用カラーチャート）別果実品質

年	表面色	果数(個)	果重(g)	比重	果肉硬度(lbs.)	糖度(Brix)
2000	1-1.5	22	570	1.025	4.8	11.7
	2-2.5	37	603	1.021	4.7	12.2
	3-3.5	36	564	1.016	4.6	12.7
	4-4.5	22	633	1.005	4.5	13.0
	5-5.5	24	632	0.992	4.2	13.1
	6-6.5	13	624	0.981	4.4	13.6
2001	1-1.5	3	477	1.025	4.9	11.2
	2-2.5	13	503	1.025	4.9	11.6
	3-3.5	24	519	1.022	4.8	11.7
	4-4.5	26	539	1.022	4.8	12.3
	5-5.5	27	559	1.017	4.5	13.0
	6-6.5	23	572	1.004	4.5	13.3
	7	6	518	1.011	4.5	13.9

注)果実は、表2の調査日に無作為に採取した。

表2 収穫日別、表面色別果肉障害発生率[%、(個)]

年	調査日	満開後 日数	調査 果数	表面色						
				1-1.5	2-2.5	3-3.5	4-4.5	5-5.5	6-6.5	7
2000	9/ 8	142	40	0(16)	0(16)	0( 8)				
	9/14	148	38	0( 6)	0(15)	0(10)	0( 4)	0( 3)		
	9/22	156	39		0( 6)	0(15)	0(12)	0( 4)	0( 2)	
	9/29	163	37			0( 2)	17( 6)	6(17)	18(11)	0( 1)
2001	9/ 3	144	33	0( 3)	0(10)	0(10)	0( 7)	0( 3)		
	9/10	151	32		0( 3)	0( 8)	0( 8)	9(11)	50( 2)	
	9/17	158	29			0( 4)	0( 8)	0( 5)	30(10)	0( 2)
	9/25	166	28			0( 2)	0( 3)	0( 8)	18(11)	25( 4)

注)( )内は果実数。

表3 新梢誘引後の枝の特性とえき花芽率（2005年）

処理区	供試枝 数(本)	誘引 角度	枝長(cm)			枝径(mm)			総芽 (個)	花芽 (個)	えき花芽率 (%)
			7/11	12/7	差	7/11	12/7	差			
誘引	12	45.8	125	140	15	9.9	12.7	2.8	36.1	3.5	10.2
無処理	13	—	118	168	51	9.1	14.3	5.2	45.1	0	0
有意性			ns	*	**	*	ns	**	**	**	**

注) 7月11日に誘引。有意性は、Mann-Whitneyの検定により\*\*は1%、\*は5%水準で有意。

表4 1年生枝棚付け1年後の枝の状態（2004年）

供試枝 数(本)	剪定後の 枝長(cm)	枝径 (cm)	芽数 (個)	摘心数 (箇所)	短果枝数(個)		新梢発 生数(本)
					花芽	その他	
23	101	1.6	25.3(100)	4.3	8.7(34)	11.5(46)	5.0(20)

注1)その他は、中間芽及び枯死したものとした。

2) ( )は芽数を100としたときの構成割合。

表5 2年生枝部の短果枝の維持（2004年）

枝長 (cm)	総果台数 (個)	新梢伸長 果台数(個)	短果枝数(個)		
			花芽	中間芽	盲芽・枯死
95.7	18.8	2.5	3.2	4.8	8.3

注) 側枝15本の3年生部を冬季に調査。新梢を1年生とした。

[発表及び関連文献]

平成10年度試験研究成果発表会資料（果樹）

平成11年度～平成17年度果樹試験成績書（農業総合研究センター）

ナシ新品種「あきづき」の収穫時期と適熟色. 千葉の園芸. 52(2003)

「あきづき」の整枝剪定. 千葉の園芸. 53(2004)

ニホンナシ「あきづき」の整枝剪定. 果実日本. 60(2005)

[その他]